がくどう くれよん

2026年11月15日　第187号
NPO法人町田市学童保育クラブの会
所在地　町田市中町1-19-5
大貫ビル202
電話　042−794−7235
広報担当　発行

地域みんなで考える子どもの育ち学習会の様子

日時　：９月26日（土）
場所　：町田市民ホール
テーマ：『現代の子どもたちの心と身体
～保健室という場所から～』
講師　：金井中学校養護教諭 三枝 泉先生







地域の方や保護者の方と学び合うことを目的とした『地域みんなで考える子どもの育ち学習会』を開催しました。今年度で５回目を迎え、今回の学習会では思春期の子どもたちが抱えている悩みやそれに対して大人がどのように向き合っていけばよいのか、考えていきました。

周囲の考え方と自分の考えが異なり、価値観が分からなくなってしまうアイデンティティの悩みや思春期の葛藤、保健室が拠り所となり、少しずつ自分の気持ちを整理していく子どもたちの様子など、事例を基にして保健室だからこそ見える子どもたちの姿を伺うことができました。

グループディスカッションでは『子どもに寄り添うとは』というテーマで６つのグループに分かれて話し合いを行いました。「子どもの目線に合わせて対応を行っていく」、「大人側が子どもを理解しようとしている姿勢を子どもに見せる」といった意見が交わり、なかには「子どもに寄り添うとはどんなことか」について議論するグループもありました。

まとめとして『中学生でも物事をまだ自分で決められない年頃』であること、成長の中で起こる子どもの反発はその場が安心して反発できる環境の証拠であり、危険な場所では負の感情も豊かに出すことはできないこと、また子どもの様子を受け止め、子どもたちが将来、悩みや問題を自分で考えて乗り越えていけるように大人が見守る、手本を見せていくことの大切さを実感するお話で学習会は締めくくられ、参加者から温かく大きな拍手が送られました。

正会員・賛助会員募集

会員を募集しております。当法人にご賛同いただける方は、法人事務局までご連絡ください。

個人正会員　　一口 3000 円以上
個人賛助会員　一口 1000 円
問い合わせ先　：　042-794-7235（法人事務局）

目次

１面：地域みんなで考える学習会の様子
２面：親善交流ドッジボールを開催しました／町田市内学童保育クラブ絵画作品展
３面：子どもの権利条約がめざす『子どもにやさしいまち』～町田市の取り組みから考える～／新任職員紹介
４面：連載企画『イチ推し！おやつ』

法人の予定

１２月５日 保護者会との懇談会
１２月２６日　１１クラブ合同行事

ぷちくれよんひろば・日程

１２月開放：９日 企画 16 日
１月開放：13 日、20 日　企画 27 日

親善交流ドッジボールを開催しました







子どもたちの健やかな成長を見守るため、また保護者の皆様と職員が一緒に子育てに関わり合いながら、よりよい関係を築くきっかけとして交流イベントを企画し、10月5日に大蔵小学校体育館で開催しました。

今回は、大人31名、子ども8名の方にご参加いただきました。参加者は4チームに分かれ、学生時代のクラブ活動を含めた自己紹介を行い、保護者と職員の知らなかった一面を共有する場面も見られました。

ドッジボールは、通常の1チーム対1チームの対決から始まり、王様を倒すと勝利する『王様ドッジ』、田の字の陣地に1チームずつ入り4チーム同時に対決する『田んぼドッジ』を行いました。王様ドッジでは、王様を誰にするか相談するだけで自然とコミュニケーションが生まれ、チーム内の雰囲気がつくられていきました。2回戦とも王様を守り切る接戦となり、王様が誰だったか発表されるたびに守り切った喜びの拍手や声が上がり、盛り上がりました。

田んぼドッジは、ボールを2個投入する特別ルールで行いました。あちこちからボールが同時に飛び交い、右を避ければ左から狙われるなど、息つく暇もないスピード感のある試合が展開されました。また、休憩時間には、円になってバレーボールのトスをつなぐ輪ができたほか、もう半面では子どもたちによるミニドッジボールの輪ができ、和やかな場面となりました。

クラブの垣根を越えて参加いただいた皆様とともに楽しい時間をつくり、共有することができました。ありがとうございました。次回も皆様のご意見を取り入れながら、子どもたちの成長を見守る仲間として元気が出る交流を企画していきます。

町田市内学童保育クラブ絵画作品展

町田市社会福祉協議会主催の『町田市内学童保育クラブ絵画作品展』の作品募集が行われ、当法人から3名の児童の作品が入賞しましたのでご紹介いたします。今年のテーマは『大事にしたいもの』、『ひみつの世界』です。入賞おめでとうございます。



『くわがた』
どろん子学童保育クラブ
内山（うちやま）　桃陽（とうや）さん



『ありのすのせかい』
成瀬中央あおぞら学童保育クラブ
小島（こじま）　湊（みなと） さん



『すきなキャラクター』
金井学童保育クラブ
大澤（おおさわ）　茉奈（まな）さん

子どもの権利条約がめざす『子どもにやさしいまち』

～町田市の取り組みから考える～

町田市では、子どもにとって最善の利益を第一に考え、子どもが幸せに暮らすことができる『子どもにやさしいまち』を目指しています。町田市は、ユニセフが主唱する『子どもにやさしいまちづくり事業』に参加し、子どもに関する様々な施策を世界基準で展開しています。また、町田市は『子どもの権利条約』を具現化するための『子どもにやさしいまち条例』を 2024 年５月５日に施行し、子どもと大人の権利を守るための責務を明確にしています。

今回は『子どもにやさしいまちづくり事業』とはどういったものなのかを取り上げてみました。

【子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI）】

町田市では、『町田市子ども憲章』を始まりとして、『町田創造プロジェクト（MSP）』『子ども委員会』『市民参加型事業評価』など、子どもが社会に参加できるよう取り組んできました。このことがユニセフ日本協会に評価され、2021 年度から町田市は『子どもにやさしいまちづくり事業（CFCI：Child Friendly Cities Initiative）』の実践自治体として活動を行っています。

子どもにやさしいまちづくり事業の具体例：『ミニまちだ』

『ミニまちだ』は、小学４年生から高校３年生の実行委員が中心となり、子どもだけの『まち』をつくる社会体験プログラムです。2026 年度は６月から 10 月にかけて『こども会議』を開催し、「どんなまちにしたいか」「どんな仕事が必要か」などを子どもたち自身で話し合いながら準備を進めました。

10 月 11 日・12 日に成瀬会館で開催され、市内の小学１年生から高校３年生までの子どもたちが市民登録をして参加しました。子どもたちは、学校でまちの仕組みを学んだ後、ハローワークで紹介された職場で働き、給料を受け取って税金を納め、買い物や食事を楽しむなど、実際の社会に近い体験を通して、まちの仕組みや社会の役割を学びました。

大人は子どもたちの意見を尊重しながら、安全に活動できるよう見守る役割を担い、子どもたちが主体となって運営する『子どもだけのまち』が実現しました。

法人の学童保育クラブに在籍している子どもたちと保護者や支援員が、当日ボランティアや市民として参加する姿もありました。学童保育クラブでも『子ども会議』や『こどもアンケート』を行い、子どもの意見を聴き、その意見が大切にされるような取り組みを行っています。

参考：町田市ホームページ『子どもにやさしいまちづくり（CFCI）』、ミニまちだ公式サイト

新任職員紹介

９月に入職した正規職員をご紹介します。

①マイブームは？　②好きなあそび・得意なあそび　③意気込み



どろん子学童保育クラブ

丸山（まるやま）　祐輝（ゆうき）

９月１５日入職

①猫と遊ぶこと
②鬼ごっこ・折り紙
③子どもたちの「楽しい！」に寄り添い、安全で温かい居場所を作っていきます。どうぞよろしくお願いします。

イチ推し！おやつ

学童保育クラブでは、成長期のお子さんの『補食』としておやつを提供しています。今年度の連載企画は『イチ推し！おやつ』と題して、各学童保育クラブのおすすめおやつや、おやつの時間の様子を紹介していきます。

～金井学童保育クラブ～

特別おやつとして子どもたちが自分の手でつくる『しゃかしゃかおにぎり』を楽しみました。炊き込んだコーン茶飯を紙コップに入れ、上からラップをかぶせて輪ゴムで止めて軽く振ると、コップの中でごはんがまとまり、まん丸のおにぎりが完成します。最後にラップでそっと握ると、自分だけのかわいいおにぎりができあがり、子どもたちは「こんな形になったよ」と嬉しそうに見せ合っていました。班の友達と並んで味わう時間は和やかで、「おかわりしたい」とたくさんの手が上がりました。自分の手でつくる体験を通して、食べることへの興味、関心が湧き、あたたかいおやつの時間になりました。













～大蔵学童保育クラブ～

９月の誕生会で「おめでとう」とみんなでお祝いをした後、まだまだ暑い日が続いていたのでアイスを食べました。おやつの準備をする時に「今日は何のおやつ？」と台所の入り口をわくわくした様子で覗き、アイスだとわかると周りの子どもたちにおやつのメニューを嬉しそうに伝えていました。アイスの他にコーンフレークやグミなどもあり、子どもたちがアイスに自由にトッピングをして食べました。「これを組み合わせるとおいしい」「きれいに飾れた」とできあがったアイスを見せあいながらおいしく食べました。

～なかよし学童保育クラブ～

子どもたちが育てたきゅうりとすいかを使ったおやつを紹介します。５月に植えた苗がすくすくと育ち、夏を迎える頃にはたくさんの実がなりました。きゅうりはそうめんと一緒に出したり、塩揉みや味噌をつけて食べたりなど、たくさんのレパートリーを楽しみました。また大きなきゅうりの実がなった際には「おばけきゅうりだ」と興奮する様子が見られました。すいかも大きな実が４つなり、おやつにみんなで食べることができました。味もとても甘く「初めて食べたけどおいしいね」「めちゃくちゃ甘いね」と子どもたちも大満足なおやつとなりました。





